

2026 年 1 月 27 日

各 位

会社名 株式会社フィル・カンパニー
代表者名 代表取締役社長 外山 晋吾
(コード番号：3267 東証スタンダード)
問合せ先 経営管理・経営企画管掌執行役員 豊田 憲一
(TEL：03-6264-1100)

当社取締役会の実効性評価の概要に関するお知らせ

当社取締役会は、より充実したコーポレートガバナンス体制の構築と中長期的な企業価値向上を目指すため、株式会社東京証券取引所が定める「コーポレートガバナンス・コード」に基づき、取締役会の実効性に関する評価を実施いたしましたので、その結果の概要について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 取締役会実効性評価の方法

当社取締役（社外取締役および監査等委員である取締役を含む計7名）に対して、「取締役会評価に関する質問票」による無記名回答方式でのアンケートを実施いたしました。なお、「取締役会評価に関する質問票」においては、各取締役より、当社取締役会の改善を検討すべき点など自由な意見や提案を求めています。主な質問、提案事項は、以下のとおりです。

- 取締役会の規模、構成、運営状況、情報の開示状況
- 取締役会での議論内容（中長期戦略、経営戦略）の過不足
- 株主・投資家との関係（IR、投資家への開示・情報提供）および株主還元

2. 取締役会の実効性に関する分析および評価結果の概要

上記による評価の結果、当社の取締役会は、経営課題に関する活発な議論を経たうえで判断が行われており、また業務執行に対して有効な監督機能が働いていることが確認され、取締役会の実効性が十分に確保されているとの結論に至りました。

一方で、中長期の経営戦略に関する議論について、より活発に行うよう時間配分など議事運営に対処すべき課題があることを確認いたしました。

3. 今後の対応

上記の課題を踏まえ、当社事業に影響を与える機会やリスクについて、議論の質を高められるよう報告内容の適正化と審議事項の重点化、及び中長期戦略についての議論時間の確保に取り組んでまいります。また当日の審議時間を十分確保するため、本質論に絞った議論を行い滞りなく議事を進めることに取締役会参加者一同、認識を一致しております。今後とも、持続的成長に資する取締役会の在り方やガバナンス体制に関する議論を継続してまいります。

以 上